



みんなでつくろうふるさと荻島

コミ協おぎしま

2025年(令和7年)3月31日 第58号

発行／荻島地区コミュニティ推進協議会

〒343-0804 越谷市南荻島190-1

荻島地区センター・公民館内

☎ 974-9555 FAX 974-9879



脳トレ体操、クイズで楽しいひとときを過ごすことができました。



二十歳のつどいにならない地区内在住の満70歳の方々を祝う「第28回盛人の集い」が3月2日(日)地区センター・公民館において開催されました。この事業はコロナ禍やインフルエンザの流行により、5年ぶりに式典が開催されました。

式典は来賓からの祝辞や市長からのメッセージが紹介されました。

また、アトラクションでは「大袋歌声の会」と一緒に昔なつかしい歌や、



1月12日(日)に行われた出羽・荻島地区二十歳のつどいで青年実行委員を務めさせていただきました。

令和6年度の式典も昨年同様、出羽・荻島地区合同で実施されました。実行委員の皆様や地域の方々のご協力のおかげで式典を終えることができました。心より感謝申し上げます。

式典や催し物では、恩師の方々にもお越しいただき、数年ぶりに再会した友人と思い出話に花を咲かせ、有意義な時間を過ごすことができました。

また、改めて多くの方に支えられていることを実感しました。

まだまだ未熟な点もありますが、家族や友人、地域の方々の助けを借りながら、私たちは成人としての自覚を持ち、目標に向かって未来を担う青年として、恥じぬよう日々精進してまいります。



コロナ禍により5年ぶりに開催されたこの事業は児童・保護者・地域の方々がいろいろな活動を通してふれあいを持つことを目的に10月19日(土)、荻島小学校において行いました。

1年生は、こま回し、2年生は、おはじき、メンコ、けん玉、だるま落としの4種類の遊びを荻島地区の協力員の皆さんや保護者の方々といっしょに遊びました。

めはとまどつていましたが、楽しく遊んでいました。保護者の方々や協力員の皆さんは、昔の遊びをなつかしがつていたようでした。

子ども農業体験事業

稲かり体験をして

五年一組 高原 優奈

稲かり体験では、かまを
使うときの注意や、稲をか
るときのコツなどを教えてい
いに教えてもらいました。

地域の方に教えてもらった
コツは、まず少し後ろにさ
がり、かまを持つているき
き手の方の足を少し前に出
すと足にかまがあたり、
安全にできるよというもの
でした。

私は、かまで足をきつて
しまいかもと少し不安だっ
たので、地域の方に教えて
もらい少し不安が消えまし
た。

また、稲かりをしていた
とき、ものすごく暑く、昔
の人々や農家の方たちはこ
んな暑いなか、長時間作業
をしていてとてもすごいな
と感じました。三十分ぐら
いだっただけ、とても貴重
な体験ができ、よかったです。



稲刈りをして

五年二組 堤 陽華

私は、稲刈りをして知っ
たことが二つあります。

一つ目は稲の持ち方があ
ることです。私は最初、持
ち方は何でも大丈夫だと思
っていたけれど、親指を
下にして持つと、指を切る
おそれがあるということ
です。なので、親指を上
にして持ちます。

二つ目は、すばやく切る
ためのコツです。インター
ネット調べたときは、平
行にかるのいいと書いて
あって、実際にやってみ
ると平行にかるのも大切だ
けど、かまの先で引く張る
ようにするとすばやくでき
ることが分かりました。

私は最初、稲刈りをする
のがとてもこわかったけ
ど、やってみて楽しかった
です。作業で使う機械も見
ることができてすごく良い
稲刈り体験になりました。



第51回荻島地区文化祭

荻島地区文化祭実行委員会 委員長

泉 隆

昨年11月17日(日) 第51回荻島地区
文化祭を実施し、無事に終わることが
できました。

文化祭は、「発表・演舞」「展示」「味
覚体験・直売・模擬店」「イベント・フリー
マーケット」のコーナーで行われます。
以前も実行委員長を引き受けました
が、今回は参加団体も参加者も減少。
特に小学生の出席・出品が減りました。
少なくなった原因は様々ですが、参
加者と指導者の高齢化により続けるこ
とが困難になり、結果として参加を見
合わせているようです。

私も蕎麦打ち会でも、若いお母さ
んは所属していますが、子育てや就労
でなかなか参加できないのが実態です。
公民館行事は、地域のコミュニティ、
文化行事、食文化と多くの役割があり
ます。年代を越えた人達の参加による
さらなる発展を希望します。



第23回荻島まつり

荻島まつり実行委員会 委員長

会田 雄一

11月17日(日)に第23回『伝統と人
と自然がふれあう荻島まつり』を地区
文化祭との合同で開催しました。

当日は穏やかな晴天の下で、部会ご
とに工夫を凝らした模擬店の出店や展
示を行いました。青少年部会の「ゲー
ムコーナー」では、ポッチャ体験を取
り入れるなど、誰もが参加できて、楽
しんでもらえるような取り組みを行
いました。

各部会の活動を通して、委員同士並
びに地域の皆様との交流を図ることが
できました。今後も地域が盛り上がり、
人の結びつきを強くできるようなコミ
協活動を推進して参りたいと思います。

荻島まつり実行委
員をはじめ、多くの
皆様のご協力により
盛大に開催できたこ
とに心より感謝申し
上げます。



荻島地区青少年・ コミ協合同視察研修会

荻島地区コミ協副会長

高橋 幸一

荻島地区青少年指導員協議会・コミ協
合同視察研修会が11月7日(木)に25名
の参加者により行われました。

今回の視察先は、茨城県阿見町の予
科練平和記念館、JAXA筑波宇宙セン
ターと道の駅常総でした。

阿見町は、大正時代に霞ヶ浦海軍航空
隊が開隊され、その後「予科練」が移転
して終戦まで予科練教育・訓練を担いま
した。貴重な予科練の歴史や戦史の記録
を保存・展示し、次の世代に正確に伝承
し、命の尊さや平和の大切さを考える記
念館でした。

筑波宇宙センターでは、宇宙開発や宇
宙利用の実証実験として国際宇宙ステ
ーション「きぼう」を運用・利用するなど
様々な取り組みをしていました。

今回は先人達の平和に対する思いや現
在人が平和と安寧を続ける事を惜しんで
はならないと感じました。故に、地域も
交流と理解が平和の原点と感じた視察研
修会でした。



編集後記

今年度も終わりになります。コロナ明け2年目で感染症もどこ吹く風になり、マスクは変わらず付けている人もコロナ以前より多く見られますが、インフルエンザにもう一つ増えただけの感覚になってきました。この時期ずっと変わらないのは、2月の梅が終わり、3月桜が咲く頃には学校も職場も何事にも卒業の時期で別れもあります。寂しい事でもあったりしますが、4月からそれぞれに、心新たに、またひとつずつ頑張っていくことにしましょう。